

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 16 日

評価対象事業		評価者	教育総務課担当課長 茂木 健太郎	
教育-13	実施事業	生涯学習センター管理運営事業 ☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	主管課	教育総務課
			関連課	
総合計画上の位置付け	分野	生涯学習	施策の方針	学習環境の整備・充実

1 事業の目的

対象	市民等
意図	学習活動を展開できる場の確保と利用しやすく質の高い魅力的な施設づくりを進めるため。
効果	「いつでも」「どこでも」「だれもが」気軽に学習できる環境の整備・充実を図る。

2 平成28年度に実施した事業の概要

・生涯学習センター管理業務補助嘱託員の配置や事務用消耗品の購入など、生涯学習センターの運営に必要な事務を行った。
 ・生涯学習センターの総合管理、各所修繕や生涯学習ネットワークシステムの保守管理など、施設の維持管理を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算	28年度決算	データ区分	29年度当初予算	備 考
人口等のデータ	人 口	177,243人	人 口	176,466人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世 帯 数	80,676世帯	世 帯 数	81,150世帯	
	事業の対象者数	560,247人	事業の対象者数	595,000人	
運営資源状況	決算値(千円)	159,901	当初予算(千円)	252,762	
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他	46,916	その他	50,140	
	一般財源	112,985	一般財源	202,622	
	人員配置数	5.1	人員配置数	5.6	
事業経費運営	人件費(千円)	38,815	人件費(千円)	43,217	
	総事業費(千円)	198,716	総事業費(千円)	295,979	
	市民1人当りの経費(円)	1,121	市民1人当りの経費(円)	1,677	
	対象者1人当りの経費(円)	355	対象者1人当りの経費(円)	497	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい 今後市が実施すべき事業か	3. 廃止・休止による影響は大きくある 5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい 事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○. 負担導入済 ○-1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施 協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	☒ a: 事業内容を見直す ☐ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ その他 見直しの内容 収入確保の方策を検討していく。
		事業へ統合
予算規模の方向性	☒ A: 予算規模を拡大する ☐ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 築30年以上が経過し、各所の老朽化が激しく、部分的にいつ機能が停止してもおかしくない危機的な状況にあり、大規模修繕の必要性及び緊急性が高まっている。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	いつでも、どこでも、だれでも学ぶことが出来る生涯学習社会の実現のため、計画的な維持修繕に努め、快適に学べる施設の整備充実を図っていく必要がある。	

平成28年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	市の財政状況により、鎌倉生涯学習センターの長期的な修繕計画が進められない。また、各センターの貸出機器の更新や施設の維持修繕が十分に行えない。	
課題解決のために行った平成28年度の取組	・大規模修繕の必要性が高まっており、予算確保に向け関係課と協議を進めた。 ・新たな生涯学習の出会いの場として、鎌倉生涯学習センターロビーの活用について、市民団体と協働で検討を行った。	☐ 解決 ☐ 一部解決 ☒ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	・厳しい財政状況により、生涯学習センターの修繕計画が思うように進められない。同様に貸出機器の更新・施設の維持修繕も十分に行えていない状況である。公共施設再編計画との整合性を図りながら、今後も関係課と協議し、重要なものについて予算確保に努めていく。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名									
他市実績									

比較事項									
団体名									
他市実績									

比較事項									
団体名									
他市実績									

当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方	
------------------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容		学習センター利用者数				単位	千人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
生涯学習の振興状況を図るため	目標値	580	585	590	595	600		600		
	実績値	627	560	535						
	達成率	108.1%	95.7%	90.7%						

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									

当該事業実施に伴う 指標の推移に関する 考え方	利用者数は例年500～600千人台で推移しているので、一時的な減少傾向と思われる。
--	--